



■主はほむべきかな、その理由

1Kg 8:15 彼は言った、「イスラエルの神、主はほむべきかな。主はその口をもってわたしの父ダビデに約束されたことを、その手をもってなし遂げられた。主は言われた、
1Kg 8:56 「主はほむべきかな。主はすべて約束されたように、その民イスラエルに太平を賜わった。そのしもべモーセによって仰せられたその良き約束は皆一つもたがわなかった。

Jsh 21:44 主は彼らの先祖たちに誓われたように、四方に安息を賜わったので、すべての敵のうち、ひとりも彼らに手向かう者はなかった。主が敵をことごとく彼らの手に渡されたからである。

Jsh 21:45 主がイスラエルの家に約束されたすべての良いことは、一つとしてたがわず、みな実現した。

■ダビデの契約の箱の前での賛美

1Ch 16:4 ダビデはまたレビびとのうちから主の箱の前に仕える者を立てて、イスラエルの神、主をあがめ、感謝し、ほめたたえさせた。

1Ch 16:36 イスラエルの神、主は、とこしえからとこしえまでほむべきかな」と。その時すべての民は「アメン」と言って主をほめたたえた。

■大祭司の祝祷

Num 6:23 「アロンとその子たちに言いなさい、『あなたがたはイスラエルの人々を祝福してこのように言わなければならない。:24 「願わくは主があなたを祝福し、あなたを守られるように。

■天地創造主の祝福

Gen 2:1 こうして天と地と、その万象とが完成した。:2 神は第七日にその作業を終えられた。・・・:3 神はその第七日を祝福して、これを聖別された。・・・

Exd 20:11 主は六日のうちに、天と地と海と、その中のすべてのものを造って、七日目に休まれたからである。それで主は安息日を祝福して聖とされた。

■主の約束のとおり

Lke 1:68 「主なるイスラエルの神は、ほむべきかな。神はその民を顧みてこれをあがない、:69 わたしたちのために救の角を僕ダビデの家にお立てになった。:70 古くから、聖なる預言者たちの口によってお語りになったように、:72 こうして、神はわたしたちの父祖たちにあわれみをかけ、その聖なる契約、:73 すなわち、父祖アブラハムにお立てになった誓いをおぼえて、

Lke 1:45 主のお語りになったことが必ず成就すると信じた女は、なんとさいわいなことでしょう」。

Lke 1:55 わたしたちの父祖アブラハムとその子孫とをとこしえにあわれむと約束なさったとおりに」。